

MIYAZAKIKEN

MARCH
2026.3

障害者社会参加推進センター だより

FESTA2025



- 1P 宮崎県障害者社会参加推進センター
- 3P 宮崎県障がい者スポーツ協会
- 4P 宮崎県精神福祉連合会
- 5P 宮崎県向声会、宮崎県身体障害者団体連合会
- 6P 宮崎県難病相談・支援センター
- 7P 宮崎県手をつなぐ育成会
- 8P 宮崎県肢体不自由児・者父母の会連合会
- 9P 宮崎県身体障害者相談センター
- 10P 宮崎県精神保健福祉センター
- 11P 宮崎県障がい福祉課

宮崎県障害者社会参加推進センターだよりは、宮崎県障害者社会参加推進協議会の構成団体(当事者団体等)のご協力のもと編集及び発行しております

発行:宮崎県障害者社会参加推進センター

(宮崎市原町2-22 TEL 0985-26-2950 FAX 0985-55-0258)



"こころ"のふれあう フェスタ2025開催

令和7年12月6日(土)、宮崎県メディキット県民文化センター及び広場に於て、「こころ」のふれあうフェスタを開催しました。このイベントは、「障害者週間」の啓発と「障がい者芸術・文化祭」を合わせたイベントで、毎年開催しております。当日は天候にも恵まれ、330名を超えるたくさんの方々にご来場いただきました。

屋内では「障がいのある方のステージ発表」「巡回作品展」「リーディング公演」、屋外では「マルシェ(似顔絵体験コーナー、盲導犬ふれあいコーナー、障がい福祉施設事業所による物品販売、日章学園高等学校調理科等のキッチンカー)」を実施しました。



オリジナリティー溢れる 似顔絵の数々

障がい者アーティスト4名による似顔絵コーナーを実施しました。午前・午後1時間でしたが、33名の方々が生きた似顔絵を体験され、個性溢れる作品に大変喜ばれていました。



思い・願いを
込めて

令和5・6年度に実施された「障がいのある人の生活・思い・想像を演劇台本に『みんなが書く戯曲のコンテスト』」で入賞された作品4本をリーディング(朗読)形式で公演をしました。脚本に込められた思いと演者の迫真の演技に大きな拍手がおくられました。

オープニングは、みやざき犬と県国スポ・障スポ局の職員による「ひなたのチカラ」のステージパフォーマンスで盛り上げていただき、主催者挨拶の後、14組のステージパフォーマンスが繰り広げられました。趣向を凝らしたステージ、迫力のあるステージ、聴き入ってしまう演奏等、どの発表も素晴らしいものでした。

また、司会の中西可奈アナウンサーの優しい語り口に、発表者の方々の緊張もほぐれ、笑顔あふれるステージとなりました。

ステージ発表の後には、福祉作業所の製作物や県産品が当たるドキドキワクワクのお楽しみ抽選会を開催し、会場は盛り上がりました。

14組の多彩なステージ



topic2 共生社会の実現に向けて

障がい理解の体験学習会を実施しました。

将来を担う子供たちが、障がいのある方との交流を通して、障がいや障がい者を正しく理解することでどのような「困りごと」があるかを学び、自ら考え行動する実践力を育むことを目的として、障がいのある方の話や障がい疑似体験、盲導犬とのふれ合い、「共生社会」の実現に向けての学習を宮崎市の5つの小学校で実施しました。



写真：宮崎市立国富小学校HPより引用

topic3 「第40回記念障害者による書道・写真全国コンテスト」宮崎県から1名入賞



戸山サンライズ（全国障害者総合福祉センター）主催の標記コンテストに、全国から1,099点（書道部門937点、写真部門162点）、宮崎県からは61点（書道部門60点、写真部門1点）の応募がありました。

宮崎県からは、書道部門で久保優樹さんが銅賞に入賞されました。おめでとうございます。

topic4 障害者週間啓発活動を実施しました



12月3日から9日の「障害者週間」の啓発活動の一環として宮崎山形屋に懸垂幕を掲揚しました。

その他県内道の駅や市町村へ啓発グッズを設置して、啓発に努めました。

また、12月6日(土)開催の"こころ"のふれあうフェスタでは、来場者の方々へ福祉事業所のお菓子等を配布しました。

障がいのある方や福祉への理解が深まることを目指して、今後も啓発活動を続けて参りたいと思います。

〈 相談窓口のご案内 〉



障がい者差別相談窓口

0985-23-3388

soudan@miyashinren.jp



障がい者110番

0985-26-3040



障がいのある方が障がいのない方と同じように日常生活を営むことができるよう、障がいを理由として不利益な取扱いをされたり、必要に応じた支援などの合理的配慮を行わないなどの差別に関するご相談に応じます。

障がいのある方が安心して生活ができるようにさまざまな問題について情報提供や助言を行っています。

障がいのある方やそのご家族または関係者からの相談に応じます。

湖国の感動 未来へつなぐ わたSHIGSA輝く 障スポ2025

「湖国」である滋賀で生まれた感動が、未来へつながるようにという願いが込められた「湖国の感動 未来へつなぐ」を大会スローガンとした第24回全国障がい者スポーツ大会が、令和7年10月25日（土）から10月27日（月）まで滋賀県で開催され、全国から選ばれた選手・役員約5600名が競技を通して交流を深めました。

本県からも選手25名、本部役員27名の合計52名の選手団が参加し、日本最大の湖、琵琶湖がある滋賀県内の各競技会場において熱戦が繰り広げられました。

彦根市で行われた開会式では、「平和堂HATOスタジアム」に秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、本県選手団を代表して陸上競技、ボウリングに参加する選手・役員25名が堂々の入場行進を行いました。



この大会での本県選手団は、陸上競技・水泳・卓球（STTを含む）・フライングディスク・ボッチャ・ボウリングの6つの個人競技に参加しました。選手は、宮崎県代表としての自覚を持ち、十分とはいえない練習環境の中で監督・コーチとともに精一杯努力し、全力で競技した結果、金10個、銀12個、銅5個の合計27個のメダルを獲得しました。

これも、ひとえに、これまでサポートをいただいた監督・コーチや家族、関係者の皆様、声援を送っていただいた県民の皆様のおかげであると深く感謝いたします。

最終日の競技終了後、全選手が「平和堂HATOスタジアム」に集まり、高円宮妃殿下の御臨席の下、閉会式が行われ、滋賀県出身の歌手で大会PR大使の西川貴教さんのパフォーマンスで会場が一体となり、最高の盛り上がりを見せる中で閉会しました。

今回の第24回全国障がい者スポーツ大会「わたSHIGSA輝く障スポ2025」はすべての人が様々な場面で主役として光り輝くために、滋賀県民の皆様が知恵を出し合い、力を合わせて創り上げた素晴らしい大会でした。参加した本県の選手たちも、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感を、令和9年に本県で開催される「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」に繋げていく実りの多い大会となりました。



宮崎県精神福祉連合会 令和7年度 活動報告

1) 綾町でジャガイモの収穫体験をしました。

6月25日(水)に、綾町にある農園にて、ジャガイモの収穫とレクリエーションを開催し、宮崎県下の家族会の方々と交流を楽しみました。途中で雷雨になったのは、ちょっと残念でしたが、それも気にならないくらい、皆さんで楽しい時間を過ごすことができました。



2) 障害年金についての勉強会を行いました。

10月26日(日)に宮崎市総合福祉保健センターにて、「障害年金について社会保険労務士に聞いてみよう!!」をテーマに家族会の皆さん向けに勉強会を行いました。

障害年金についての疑問や不安に思っている事を、専門家である社会保険労務士の方を講師としてお迎えして質疑応答や個人面談にて知識を深めました。

皆さんが気にしていること、不安に感じていることが多岐にわたることがわかる勉強会でした。



3) 日向市で開催された精神保健福祉大会に参加しました。

11月8日(土)に、日向市の日向市文化交流センターにて催された第65回宮崎県精神保健福祉大会に参加しました。「ささえあい～日向(ひむか)から笑顔を発信しよう～」をテーマに多くの方が参加されていました。

精神保健福祉功労者への表彰・体験発表・特別講演などがありました。

宮崎県下の家族会の方々と会うことができ、大切な交流の場にもなりました。

4) 2027 日本のひなた～国スポ障スポ種目体験による交流会を行いました。

11月26日(水)に、新富町体育館にて、「2027 日本のひなた・国スポ障スポ種目 体験交流会」というテーマで、2027年開催の国スポ障スポの種目内容のいくつかを知ってもらうイベントを行いました。

フライングディスクやポッチャなど体験したことがない種目に、皆、目を輝かせながら挑戦していました。



5) 佐賀市にて開催された「九州・沖縄ブロック大会」に参加しました。

12月11日(木) 12日(金)に、佐賀市にて開催された全国精神保健福祉連合会(みんなねっと)主催の「令和7年度みんなねっと九州・沖縄ブロック家族会 佐賀大会」に参加しました。

「わたしと家族が元気になる」を大会テーマに、講演や活動報告が行われました。

宮崎県だけでなく九州みんなで取り組むべきことも確認することができ、有意義な大会となりました。

はなから牛乳 ???

嘉門達夫さんの歌に「はなから牛乳・・・」というのがある。

喉頭がん等で喉に気管孔を開けている者は、口腔は胃とつながり、呼吸は気管孔で行っている。口に含んだ飲み物が多かったり、何かのタイミングで喉を通らなかったときは、鼻からでる。

他にも、呼吸と食道が分けられると、麺などがすすりこめない、フーフーと長く口から呼吸を出して食べ物を冷ますことが出来ない。摘出部位の個人差もありますが、不便なことが他にも多々あります。

人とコミュニケーションを取るには、声では食道発声、EL（電子式人工喉頭）、シャント発声などがあり、スマホやパソコンを使われる方もおられます。

向声会では以下のとおり、発声練習を行っております。

発声練習について

- ・ 場所：宮崎県福祉総合センター本館
2階 セミナールーム
- ・ 日時：毎月第2火曜日・第4火曜日
午後1時30分～2時30分

向声会の案内チラシを、宮崎大学附属病院・宮崎県立病院・かわばた頭頸部クリニックの病棟や相談センター、ELを販売している業者にお願いしていますが、なかなか新しい方がお見えになりません。

配布した向声会の案内チラシを見て、「行って見ようか」という気持ちになってほしいと願っております。

宮崎県身体障害者団体連合会

九州身体障がい者グラウンド・ゴルフ大会に県内から3チームが参加

11月27日(木)・28日(金)に大分県別府市の野口原総合運動場にて、第18回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会が開催され、九州各県・政令指定都市から27チーム135名の参加がありました。

宮崎県からは県大会で好成績を収めた3チーム（高崎町A、都農町A、えびの市A）が参加され、団体戦では高崎町Aが4位と大健闘、個人戦では20位以内に5名が入賞され、日頃の練習の成果をいかんなく発揮されました。



宮崎県身体障がい者相談員研修会を開催

令和7年9月8日(月)、宮崎県福祉総合センターにて「令和7年度身体障害者相談員研修会」を開催しました。講師に鹿児島県身体障害者福祉協会障害者スポーツ部長の前田究氏をお迎えして、「心のバリアフリー～車いすの生活から～」と題し、実体験を踏まえた社会の現状や心のバリアフリーについて詳しくお話をして頂きました。



身体障害者相談員等約40名の方々が参加され、「相手を理解することと思いやりを持つことの大切さを感じ、大変勉強になりました。」等の感想をいただきました。



宮崎県難病相談・支援センターは、以前も案内をさせて頂きましたが平成17年に宮崎県より「宮崎県難病団体連絡協議会：通称難病連」が委託を受けて運営しております。

センターの理念としては「難病の方々に寄り添いお役に立つ」とし相談支援の基本方針は①難病に伴う全人的苦痛を思いやり、傾聴と援助的コミュニケーションにより安心をもたらすよう対応する②難病にかかる制度や保健・医療・福祉サービス、および就労・就学や生活上のことなど確かな知識・情報を伝え意思決定を支援する③患者自身が自己の健康レベルを受容し自尊感情を損なわず社会参加しつつ営める生活を支える④ピアサポートの有効性を認識し患者自身が他の患者のサポートに寄与できるよう導く⑤相談支援員は相談・支援の技能を高めるよう継続して自己研鑽するとしております。

その中で相談支援活動の一環として2カ月毎（基本的に偶数月実施）に患者・家族交流会を開催しており、特に12月期は毎年恒例となりつつある「クリスマス会&患者・家族交流会」として今年は12月18日開催しました。

クリスマス会（ミニコンサート）にはお陰様で宮崎市を始めとして県内各地より50名超えの参加を頂き盛會に終えることが出来ました。ご参加ありがとうございました。

（ミニコンサートだけに本館及び人材研修館からも参加が有りました）

先ず始めのクリスマス会はここ数年前よりチェロ奏者「浜砂なぎさ」とピアニスト「矢房加奈子」さんによるミニ演奏会です。チェロとピアノ演奏に酔いしれたひとときでした。（アンコールを含めて6曲演奏して頂きました。定番のクリスマスソングも披露）

次に、もう一つのイベントである患者・家族交流会に移り、交流会はマイクを回して各自自分の病歴や症状・近況など話されていました。交流会にはwebでの参加者も有りました。交流会終了後アンケートをお願いしていますが患者さんはほぼ全員が記入して頂きました。アンケート結果を少しご案内すると・楽器演奏が大変良かった・毎年クリスマス会を開いていただきありがとうございます・心が暖かくなり元気を沢山いただいた・初めての参加でしたが色々な思いのある方の話が聞けて大変良かった・とてもためになるお話の交換ができて良かった・時間が足りなかった・もう少し長く開催して欲しいなど書いて有りました。

次年度も患者・家族交流会は開催しますので是非ご参加をお願いします。詳細は、当センターのホームページをご覧ください。それではまたお会いする日までさようなら

障がい福祉サービス多機能型事業所

スマイルホーム360

さんろくまる



特定非営利活動法人日向市手をつなぐ育成会(理事長・黒木義美)の運営するスマイルホーム360は、就労継続支援B型・生活介護・日中一時支援からなる多機能型の事業所です。平成27年4月に日向市東郷町の元福瀬小学校跡地にて開設しました。

「障がいのある人が、自分の人生を享受し、楽しく意味のある人生を送る機会を提供する」の理念のもと、日々活動に取り組んでいます。

就労継続支援B型

B型では、年間を通して様々な委託作業に加え、日向市役所庁舎や市内企業のトイレ清掃に励んでいます。掃除を通して社会参加できる場が広がり、市民の皆様や企業の方々が頑張る利用者さんの姿を見ていただく機会も増えました。施設外就労を始めて9年目となりますが、当初は戸惑っていた利用者さんが、いまやプロフェッショナルと言っても過言ではないほどの活躍を見せています。



生活介護

生活介護では、生活訓練や季節の壁面制作などの創作活動、一人ひとりの課題や目標に合わせた個別活動に取り組んでいます。また、レクリエーションやバリアフリースポーツを通して、地域の方々と交流を深めています。人と巡り逢い、つながり、支え合いながら、利用者さんと共に沢山の「楽しい」を発信していきます。



買い物支援

さらに、事業所全体で買い物支援事業も行っています。日向市東郷町にお住いの、主に買い物が困難な高齢者宅や、サロンが開催される公民館へ専用の販売車で伺っています。雨の日も風の日も待って下さる方々のために休まず運行を続けています(さすがに台風の日休みでしたが…)。利益の追求ではなく、「笑顔のキャッチボール」にこそ価値を感じています。



今後もスマイルホーム360の理念を念頭に置き、活動や交流を深めながら地域共生を目指し、地域福祉を支えるひとつとして、その役割と責任を果たして参ります。

当会では、個性や多様性の生き方を尊重し、年齢や性別や障がい有る無し関係なく、お互いを知り理解し合える関係性を築ける場を提供することが目的です。できない！と諦めず、できるような環境整備をし、誰もが輝く生き方のできる社会にするにはどうしたら良いのか…様々な活動を通してみんなで考え、実践する事業展開を目指しています！

宮崎県プール「パーソルアクアパーク宮崎」プール体験会 令和7年11月23日(祝日)

令和7年春にオープンした県プールにて、理学療法士を中心に医師・看護師・保育士など専門職に支援指導いただきジャグジーや専用車椅子ごと入水できるスロープ付きプールを貸し切り、リハビリり遊泳体験。UMKで紹介されました(*^_^*)



インクルーシブタフェスタみやざき2025(旧生目台西小学校にて) 令和7年12月7日(日)

宮崎市障がい者5団体(肢体不自由、視覚、聴覚、知的、精神)で連携し、廃校を活用したイベントを当会主催で開催しました。初開催のオープニングセレモニーに清山宮崎市長が来賓挨拶され、その後、点字・手話体験、制作活動、健康体操など各ブースイベントを体験されました。地域共生社会を目指した総合型福祉避難所設置を目的としたイベントを次回令和8年11月3日開催予定です。



宮崎市肢体不自由児・者父母の会 クリスマス会 令和7年12月20日(土)



「宮崎トヨタ自動車 SUVBASE 宮崎」様のご協力により、店内会場を借用、クリスマス会を開催しました。地域共生や障がい理解を目的に、民間企業との連携は初の試み！防災士を講師に防災・減災を学ぶ機会となりました。毎年恒例のお楽しみ抽選会には「宮崎橘ライオンズクラブ」様のご厚意によるプレゼントもあり、会場は和やかに笑顔溢れ盛り上がりしました。

宮崎県肢体不自由児・者父母の会連合会 事務局

〒8800024 宮崎市祇園1-50 宮崎市心身障害者福祉会館内
 Mail: miyazakishishitai@ari.bbiq.jp 会長 田中聡子 (090-4483-8901)

高次脳機能障がいへの理解

出前講座

随時
受付中

「隠れた障がい」と言われる高次脳機能障がいは、
周りの気づきが大切です

この障がいは、本人に障がいの自覚がないことが多いため、御家族や、地域で医療・福祉・保健に携わる方など、周りの誰かが気づいて相談・支援に結び付けることが、大変重要になります。

《対象》

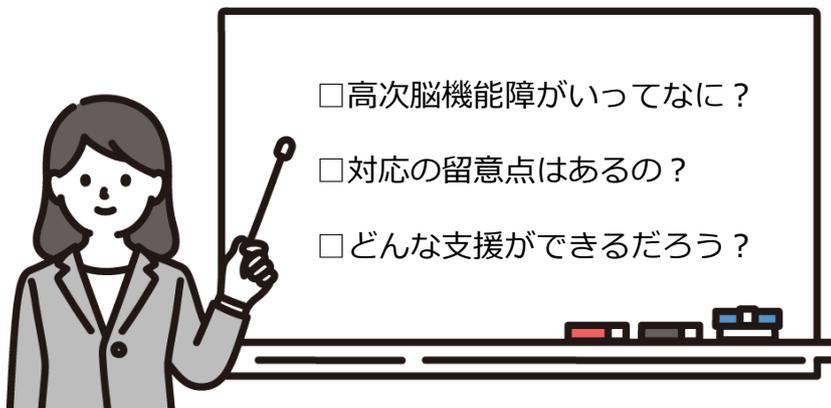
当該障がいについて知りたい、また支援に関わる可能性のある

医療、保健、福祉等の機関や団体・事業所 など

《派遣方法》

- ① 地域で開催される会議や研修会等に、当センターの高次脳機能障がい支援コーディネーターを派遣し、依頼された時間の中で講座を行います。
※オンライン、DVD等の動画視聴による方法もあります。
- ② 派遣職員の旅費、講座の資料などの費用は、当センターで負担します。
- ③ お申し込み後に日時、内容等は、調整させていただきます。

高次脳機能障がい支援コーディネーターが
分かり易く解説します。



申し込み方法

申込書(裏面)をFAX
または
申し込みフォーム



よりお申し込み下さい

QRコードは
デンソーウェーブの登録商標です。

お問い合わせ先

宮崎県身体障害者相談センター 高次脳機能障がい支援コーディネーター 武田

電話：(0985)29-2556 FAX：(0985)31-3553

E-mail：shintaisogaisa-sodan-c@pref.miyazaki.lg.jp

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

ひきこもりに関する相談のご案内

次のような状態にあり支援を必要とする方

- ・何らかの生きづらさを抱え、生活上の困難を感じている方
- ・家族を含む他者との交流が限定的（希薄）な状態にある方

宮崎県ひきこもり地域支援センター

TEL : 0985-27-8133 0985-44-2411

※8:30~17:15（土、日、祝祭日、12/29~1/3を除く）

※まずはお電話ください。



カラダのゲンキはココロから。

宮崎こころの保健室

思春期におけるこころの問題に関する相談窓口やストレス診断に加え、メールによる相談も受け付けています。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【アドレス】 <https://miyakoro.com>

精神科医による診療相談のご案内

ご本人や家族の悩みに専門の精神科医が個別に相談に応じます。

相談	主な内容	日程	時間
一般診療相談	精神的な不調全般	第1・3水曜日	いずれも 午後1時 ~午後4時 (予約制)
ストレス診療相談	ストレスによる精神的な不調、うつ病等	第2・3・4月曜日	
薬物関連診療相談	アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症	第1・3木曜日	
思春期精神保健診療相談	思春期の精神的な不調等	第2・4木曜日	

※日程・時間は医師の都合等により変更となることがあります。

予約受付電話：TEL(0985)27-5663

家族教室のご案内

精神疾患（障がい）についての家族のための教室を開いています。精神科医等の話を聴き、病気や障がいへの理解を深め、家族の対応方法を学びます。

開催時期、内容についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- 依存症家族教室
- 発達障害家族教室
- ひきこもり家族教室

家族のつどいのご案内

同じ悩みを持つ家族同士が、つらい気持ちや不安を共有することで、混乱し孤立した状況から解放され、まずは家族自身が回復することを目的としたグループミーティングを行っています。

(匿名参加可)

開催日時についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- ギャンブル依存症者の家族のつどい
- 薬物依存症者の家族のつどい

こころの電話相談

月曜日～金曜日【午前9時～午後7時】

(土、日、祝祭日、12/29~1/3を除く)

専門の電話相談員が相談をお受けします。

※様々な悩みを幅広くお受けしています。今のつらい気持ちをただ聴いてもらいたい方もお気軽にどうぞ。

専用回線：TEL(0985)32-5566

図書室利用についてのご案内

センター内にある図書室は、どなたでもご利用できます。貸出しも行っています。

- 図書 専門書、一般向け雑誌など
- ビデオ 精神疾患の理解や精神障がい者の支援に関するものなど
- DVD
- パネル こころの健康、うつ、統合失調症、アルコール依存症やギャンブル依存症等各種シリーズがあり、研修会や各種行事等の展示としてご利用できます。
※ホームページにパネル等を掲載しています。

宮崎県精神保健福祉センター付近略図



交通のご案内

【宮崎駅から】

- タクシー：約10分
- バス利用：宮崎ナナイロ前バス停まで徒歩10分
宮崎ナナイロ前バス停から7番線（下北方行）で和知川原バス停下車徒歩5分
又は8番線（平和台行）で花殿町バス停下車徒歩5分

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

宮崎県精神保健福祉連絡協議会や関係各団体の活動など精神保健福祉の取組を紹介しています。

【アドレス】 <https://www.miya-seiren.com>

宮崎県精神保健福祉センター

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2 宮崎県総合保健センター4階
TEL : 0985-27-5663 / FAX : 0985-27-5276

【アドレス】 <https://www.seihocenter-miyazaki.com>

大切なパートナー 補助犬

補助犬は、目や耳、手足に障がいのある人をサポートする「盲導犬」、「聴導犬」、「介助犬」のことです。日常生活をサポートする補助犬は大切なパートナーです。

盲導犬

見えない、見えにくい人が安全に歩けるように障害物を避けたり、段差や曲がり角を教えたりするなどしてサポートします。



聴導犬

聞こえない、聞こえにくい人に玄関のチャイムの音や赤ちゃんの泣き声、警報器の音等、生活に必要な音を聞き分けて教えます。



介助犬

手や足に障害のある人の日常生活における動作をサポートします。

指示した物を持って来る、衣服の脱衣の補助等を行います。



補助犬を見かけたら

- 食べ物を与えないようにしましょう
- 見つめたり、触ったりしないようにしましょう
- 話しかけないようにしましょう

補助犬同伴の受け入れに御理解をお願いします

「身体障害者補助犬法」では、公共施設や公共交通機関、不特定多数の人が出入りする民間施設などに、補助犬同伴の受け入れを義務付けています。

補助犬は障がいのある方の自立や社会参加をサポートする大切なパートナーです。補助犬の役割について理解し、補助犬の同伴を温かく受け入れてください。

厚生労働省では、身体障害者補助犬法の理解促進を目的に「ほじょ犬ステッカー」や「身体障害者補助犬リーフレット」等を作成しています。是非御活用ください。

ほじょ犬マーク



お問い合わせ | 宮崎県福祉保健部障がい福祉課
TEL.0985-32-4468